

中央大学学員会 49年白門会会報 第50号

発行日 2025(令和7)年5月31日
 発行人 山崎厚太
 編集人 大竹力三
 発行所 中央大学学員会49年白門会
 印刷所 有東光美術印刷

東京都港区南麻布3-11-41 ロイヤルシーズン南麻布501

49年白門会のホームページ ➡ <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49会のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス ➡ hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

CONTENTS

- 1～3ページ ★2025年新年会
- 4ページ ★友へのメッセージ 増田勝美 ★楽苦我喜 原 伸正
- 5ページ ★チョコちゃんのうちあけ話 最終回 葛西聖司
- 6～7ページ ★何でもあり会 成毛 誠 ★足がサイボーグに！ 井美知子
★50年間を振り返って 山崎厚太
- 8～9ページ ★わがフェンシング人生の目標、ついに結実す！ 板倉英行
★老後の予定表はビッシリ!! 荒井ひろ子
★デライトの会 大谷洋一
- 10～15ページ ★会員からのエッセー「今、どうされてますか？」
- 16ページ ★2025年総会・懇親会のお知らせ ★会費納入のお願い
★編集後記

2025年1月25日(土) 於・わいがや。
**新年会は3時間の
 大盛り上がり!!**



(題字・葛西聖司)



参加者の皆さん(敬称略)

渡邊秀和(文)	吉岡義典(理)	吉江信博(商)	横川 博(法)	山崎厚太(法)	山崎司平(法)	安室澄子(文)	谷治博史(法)	宮川 保(経)	松平 守(経)	益田耕二(法)	増田勝美(法)	堀籠恭一(理)	古木進一(理)	藤本真也(法)	菱倉義成(商)	橋本幸一(法)	根本慎一(文)	成毛 誠(法)	長島秀行(法)	照木信久(理)	千葉幸嗣(商)	田仲正道(法)	高橋和幸(法)	高柴富士男(経)	杉本和久(法)	清水隆敏(法)	柴田 明(理)	佐藤信春(理)	笹尾憲司(経)	齊藤栄一(文)	小山 香(法)	後藤徳彌(経)	黒澤義己(法)	加納幹郎(法)	小澤秀敏(法)	岡部立道(法)	大谷洋一(法)	大竹力三(法)	梅田真人(経)	岩城和裕(理)	稲田耕一(商)	井戸隆裕(法)	石川晶雄(経)	有山 滋(商)
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------



抽選会は宮川さん(左)と安室さんで進行



已年にちなんだダジャレで乾杯の発声は大竹副会長



「100歳まで頑張ろう」と山崎会長の挨拶



校歌のリードは根本さん



6人掛けのテーブルで鍋などつつきながら話題は病気自慢から学生時代まで



お開きになっても、まだまだ飲み足りない午後3時過ぎ



中締めは恒例の万歳三唱。背筋が伸びました。



中締めは山崎司平副会長

飲んで、食べて、笑って、語り合った3時間の新年会!!
1月としては暖かい日が続いた25日の土曜日、49会の新年会が神田神保町の「わいがや。」で開かれました。新年会はいつもは2時間です

お開きになっても、まだまだ飲み足りない午後3時過ぎ。各テーブルには次々と料理が運ばれました。

続いて大竹副会長の乾杯です。「今年はいよいよ脱皮する年で『復活と再生』の年です。皆さんも脱皮して、くれぐれも抜け殻の方にはならないでジャコ(蛇)ンプ!しましう」という発声で懇談の時間に入りました。

開宴前に全員が集合写真撮影のため座敷に集まります。少し狭くてカメラのフレームに全員入るかどうかと思いましたが、さすがプロの高橋カメラン、彼の指示に従ってポーズを決めてパチリ!

開宴時間の12時を10分過ぎてから山崎会長の挨拶でスタート。「皆さんが元気なわけで本日も48名の方が出席しました。49会の出席者は支部全体でも極めて上位にあります。皆さん引き続き100歳まで元気で出席してください。」

抽選会が終わっても中締めにはまだ1時間ちょっと時間があります。料理の方も季節野菜と豚せいろがガステープルにセットされその後、真鯛の蒸しご飯、デザートと続きます。話に夢中になりガスボンベのガスが切れて火が消えたのにも気がつ

が、今回は3時間にして二次会は予定なしということになりました。初めての試みです。

神保町駅から徒歩2分、靖国通り沿いにあるビルの3階「わいがや。」に11時半過ぎから会員の皆さんが集まってきました。遠くは岩手、新潟、愛知県からの会員も参加。48名が集まりました。

座敷はぎゅうぎゅう詰めれば48人入るかもしれないけど余裕をもって35人にして、残りの13人は少し離れたテーブル席に着席。



左から橋本（美）、清水、杉本さん



左から堀籠、岩城、横川、益田、渡邊さん



左から佐藤、長島、井戸、谷治、梅田さん



前列右から時計回りで松平、石川、山崎（司）、有山、田仲、小山さん



左から藤本、（？）、古木、岡部、後藤、加納さん



左から時計回りで黒澤、菱倉、大久保、照木、大谷、山崎（厚）さん



左から成毛、増田、大竹、加藤さん



左から時計回りで稲田、齊藤、吉岡、千葉、宮川、安室さん



左から高柴、根本、柴田、笹尾、吉江、小澤さん

かないほど話題は盛り上がり、少し離れたテーブル席の13人は一人ずつ自己紹介と近況を3・4分スピーチする時間で過ぎてしまった。スピーチを聞いていると皆さん今でも色々活躍されていることが分かります。

ラストオーダーのお酒が届いたころ、全員が座敷に集まり、恒例の根本さんリードによる「フリーフリー白門」のエルと校歌を歌い、これまた恒例の山崎司平副会長の万歳三唱と二本締めで中締めとなりました。デザートを食べる3時にはお開きです。二次会の設定はしてませんでしたが自由解散。近くのカラオケ店に行ったグループもいました。

（広報部・大竹記）

（お詫び 一部顔が隠れてわからない人がいます。）

写真 / 高橋和幸

友へのメッセージ

終の仕事

増田 勝美(法)

東京都目黒区

には、ガッカリさせられます。

※

残りの人生は、故郷で子供を養育し過ごすことにしました。半世紀を越えて帰る故郷は、おっかなびっくり玉手箱を開く気分の最後の仕事場です。

※

私の故郷は、群馬県千代田町赤岩と言います。小学校に入学した頃は千代田村赤岩と言いました。戦時中は永楽村、江戸時代から明治の初め頃までは赤岩村と言っていたようです。このころとよく変わって来た地名です。赤岩という地域は、利根川に接していますが、水害に遭うことも無く、江戸時代から続くと言われる渡し舟が今も運航しているのどかなところと、冬になり周りを見渡すと、富士山、浅間山、赤城山そして日光の男体山のきれいな姿を見ることが出来ます。環境に恵まれたところでもあります。江戸時代から続く赤岩という地名は戦国時代、地域の支配者赤井照光の墓地である赤岩山が関係しているのかも知れませんが、その赤岩について、「上州赤岩付近」は尻軽女性の住む場所のように田舎教師に言わせている田山花袋



大空こども園

赤岩に、子供たちと過ごす小さな家建てました。この年になっての家づくりは物心とも大変な負担でした。小学校・中学校に近い土地を探すことから始め、老後の生活のために蓄えた僅かな資金で家の完成まで賄わなければならないという制約があり、心細い毎日でした。取り敢えず子供たちと暮らす最低限のものは揃え、その他の物は順次整備していくことで当面は乗り切ることになりました。長年連れ添う相棒も老後の資金を全てつぎ込んだことで不平続きでしたが、これもどうにか乗り切ることができました。

※

中央大学には六年お世話になりました。なかで学部先生の言葉は今でも耳に残っています。「教養としての学問は無い」。犯罪を行ってしまった人に寄添い40余年の時間を過ごして来ました。先生の言う「弱者への

手助け」の実践になったのかも知れません。更生保護活動の中でいろいろな出会いがありました。少年院、教護院、養護施設で過ごす少年との出会いは、少年と犯罪との関係を反響するところとなりました。犯罪を行った少年を見るにつけ、非行に結びつくような環境にある少年を非行に至る前にその危険から遠ざけることは出来ないものか。貧困や虐待、その後目ら加害者となる連鎖を防ぐことは出来ないものか。最良の刑事政策のために、福祉と強く関係するところは福祉をもって対応すべきではないか等々。これが40余年の更生保護活動のどのつまりです。少年非行はフベリングとなり少年の将来に禍根を残すことになり、それは絶対に予防しなければなりません。

二年間の刑事政策研究で垣間見た偉大な先人の足跡は、この最後の仕事を後押しすることになりました。多くの偉大な先人がおられますが、原胤昭そして金原明善、川村矯一郎に導かれた榊原龜三郎の爪の垢を飲ませていただいたようです。

向こう岸も見えてきました。人生思い通りにはいきませんが、この最後の仕事に出会えたことで、悔いはありません。

楽苦我喜

原 伸正(経)

千葉県浦安市

病はどいつから...

2023年7月の49年日門会総会で幹事長を益田事務局長に交代した。その前年の6月に喉の右側が腫れ次第に左側に移動した。不安になり病院で検査をすると体のどこかに癌があり、その癌の転移だろうと診断された。喉の腫れは手術で除去したが、結果は悪性で原発不明癌と病名が付けられた。その時、これから自分に起こる予想される不安が頭をよぎり、山崎会長に相談して交代をお願いした。

昨年7月の卒業50周年記念総会を終えた後(手術から2年後)、原発不明の癌が突然、声帯の辺りにニョキと現れた。写真で見るときれいなピンク色のおできみたいだが、私にとってはピンクの悪魔に見えた。

主治医、放射線科の医師と家族で相談の結果、内服の抗癌剤と放射線を併用した治療計画が立てられた。9月から7週間連続の放射線治療である。約1週間の入院で副作用がなかったの、その後は通院で放射線を浴びることになったが、兎に角きつい7週間だった。治療が終わりに既に半年、最初の手術からは3年近く経ち、ピンクの悪魔は消えていなくなり、全身検査の結果も良好を維持している。放射線の威力に驚きであるが、体重は10kg以下減少、副作用で声と唾液が出てく、味覚も鈍くなった。でも寛解なぞである。

治療中に読んだ「神秘(白石一文著)」という本は、興味深かった。癌で余命一年と宣告された男が超能力で病気を治す山下やよいという女性がいる事を知り、彼女を探し自分の命を委ねようとする。彼女に巡り会うまで、そしてその後も様々な輪廻転生の現象や奇跡に遭遇する。やよいが「癌はね、生まれ変わってというサインなのよ」という台詞が私に云われた気がした。

放射線治療を受けている時の不安感を抑え、気持ちの中に奇跡を信じる余地を与えてくれたのはこの本と看護師の伊藤星(あかり)ちゃんであった。癌が自分の体の中から派生した分身なら、自らの気力で治す事ができるのではと考えた。3年前に喉の腫れを感じた時、もし病院へ行かずに過ごしていたら癌は消えたか、或いは手遅れで私がこの世から消えたか、確かめようはないが、「病院へ行かなければ癌と知らずに済む事は間違いない。」

チコちゃんのうちあけ話 最終回

葛西 聖司 (法)

いわゆるマイクデビューから50年の歳月を過ごし、NHKを離れてからも、はや15年になる。

作家の赤川次郎と久々に話をした。今年、77歳、出版した著書は660冊という偉業を成し遂げた。内田康夫、森村誠一、浅利慶太と古希で600冊記念の会に列席した友は亡くなって…と寂しそうだった。そうはいいながら、7年で60冊！これだけでもすごい。

赤川さんとのつきあいは、放送とは関係ない。偶然、劇場でよく出会い、目礼を交わすうち親しくなったが、番組では一度もない。しかし「三毛猫ホームズの談話室」という二冊にゲストとして呼んでいただいて、現在も光文社文庫から出版されている。赤川さんにインタビュされるという体験だった。歌舞伎、文楽、

オペラ、ミュージカルと幅広い観劇歴で話が合うのが嬉しい。お互いの仕事を離れて話題が弾むありがたさが続いている。

これまでの連載では仕事を通じた交流を綴ってきた。いつまでも書き続ける思い出があるが、みなさんも読み飽きたであろうから、今回は最後の「自慢話」をして、しめくくりたい。

少年時代、今と違ってテレビは憧れの世界、小学生で初めて教育番組のスタジオに入ったときから、テレビにはおもちゃ箱のような親しみと夢を感じていた。そんな輝きのひとつは女優の活躍。今とは違って飛び切りのスターがあまっていた。これまでに連載に書いたのは山田五十鈴、二代目水谷八重子、杉村春子らだった。



お姫様のイメージが強い八千草薫との貴重なツーショット

に主役だった人もいずれば脇役に回る。いかに山の上にいる人(スター)を本人に気づかせずに峰をたどって下山させるかが腕なんです」と長年のマネージャーが語っていた。

一度も財布を持ったことがないという最後の女優。その話は淡島を尊敬して芸名まで似せた淡路恵子からも聞いた。葬式は護国寺だった。遺影が、ご本尊の如意輪観世音菩薩の顔とポーズにそっくりだったことが忘れられない。

山本富士子は美女の代名詞。華やかさは晩年まで変わらない。自宅に招かれ、食事をぐちそうになったことがある。食卓飾りから配膳まで見事な立ち居振る舞い、失礼ながら家庭婦人、山本富士子を演じていた。まさにプロの姿を拝見した思いだった。夫、山本文晴のお別れ会で扇千景と会ったが、坂田藤十郎夫人としてのつぎあいのほうが長かったが、ふたりとも良妻賢母の代表といえる。



美女の代名詞と言われた山本富士子

最後は男性、渡辺謙。いま、NHK BSで毎週月曜日、夜6時から大河ドラマアンコール「独眼竜政宗」が放映中なので連載再登場。渡辺謙さんとの一年半の思い出がぎっしり詰まったドラマ。わたしの35歳の声を聴いていただきたい。大阪で刑事もののロケをしている情報がいり、偶然近くにいたので会いに行っていた思い出もある。謙さんの有為転変の人生はみなさんご存じの通り。ハリウッド、離婚劇、白血病…数奇な歳月はまさにドラマ。でも一貫して役者魂は健在。現在の大河ドラマ「べらぼう」では田沼意次。伊達政宗からおよそ40年の時が流れている。



渡辺謙。40年前の「独眼竜政宗」でナレーションを担当

わたしにとって朝の連続テレビ小説と大河ドラマ、貴重な二作で「語り」を学んだ。昨年から取組んだ、古典の原文朗読「平家物語」「日本書紀」「風土記」を終え、今年は「方丈記」。小学館「日本の古典を読む」オーディオブックの収録が待っている。

おわり



赤川さんにインタビューされた



宝塚の大先輩女優・淡島千景

第1回 「何でもあり会」が 実施されました。

2024年11月26日(火)
～27日(水)

2020年（令和2年）の新年会で発足した「何でもあり会」。費用も時間も何の拘束もない企画で、会員相互の懇親を深める会だったのですが、直後に起きた新型コロナウイルスの「緊急事態宣言」発出で4年間実施できませんでした。

ようやくコロナ感染症も収まり、第1回「四万温泉一泊旅行」が行われました。参加者は男性9名、女性2名の11名。

最高!! 温泉と酒の楽しいバス旅行

成毛 誠（法） 神奈川県川崎市

前日までの雨予報を裏切り晴天の中、安室さん主催、高橋さん幹事で「何でもあり会」の記念すべき第1回を挙行了しました。目的地は群馬県の四万温泉。8時35分にJR上野駅公園口に集合、50分に他の旅行者とともに大型バスに乗り込み無事出発しました。

バスは45人乗りの大型でほぼ満員。後ろ3列が我々の席になりました。



関越道を走行中にバスのビデオ放映で車内での案内があり、その中に禁止事項として飲酒が入っていたような気がしたが無視して後部座席で酒盛り（成毛、田中、高橋の3人）が始まりました。11時30分頃上里サービスエリアで休憩。各自自由に昼食を頂き、その後バスは渋川伊香保インターチェンジで降り、一般道で一路四万温泉へ向かいました。

午後2時半頃宿泊先の「伊東園ホテル四万」に到着。夕食まで時間があり近くの四万川ダムまで散策し、そのあと一風呂浴び夕食に臨みました。バイキング方式のバラエティーに富む料理の数々と特



前列左から横川博、渡邊秀和、荒井ひろ子さん。後列左から益田耕二、田中正道、成毛誠、岡部立道、後藤徳彌、安室澄子、大谷洋一さんと写真撮影の高橋和幸さんの11名が参加。

関越道を走行中にバスのビデオ放映で車内での案内があり、その中に禁止事項として飲酒が入っていたような気がしたが無視して後部座席で酒盛り（成毛、田中、高橋の3人）が始まりました。11時30分頃上里サービスエリアで休憩。各自自由に昼食を頂き、その後バスは渋川伊香保インターチェンジで降り、一般道で一路四万温泉へ向かいました。

足がサイボーグに!

井美知子（経） 埼玉県 所沢市



我々の部屋（悪童トリオ成毛、田中、高橋）には前夜の酒が残っていたので迎え酒で二日酔い醒ましをしました。さて腹ごしらえが済み、9時くらいいよいよ本格的な上州四万温泉郷巡りの始まりです。

最初に目の前の四万川ダムの堰堤まで登り、ダムでできた奥四万湖のエメラルドグリーンの水と今が見頃の紅葉に感嘆しました。次に大泉小泉の滝などを見物し落合橋を渡り温泉郷に入り、途中の坂道で安室さんが歩行に少し支障ありということだったので、ファイアーマン（元）兼アルクハイマー成毛がどのくらい背負って歩けるか挑戦したところ、座って背負うと立ち上がれず、中腰でおんぶしても7〜8メートル歩くのが精一杯で意外と体力がなくて恥をかきました。

色々見物した後、古民家風のレス・トラン・柏屋カフェで昼食を摂り、もと来た道に戻り重要文化財日向見薬師堂や御夢想の湯を見てホテルに戻りました。約1万4千歩の散策でした。

午後2時50分にホテルをバスで出発。途中関越道が混んでいるという情報があり、北関東自動車道から東北自動車道に迂回して上野を目指しました。

午後7時50分頃無事上野駅に到着し、行き帰りの大型バス運転の上手さが光った女性運転手に拍手し労をねぎらいました。

楽しい旅行ができこれから老いても体力維持に努め更に楽しい老後をお願い、安室さんと高橋さんにも感謝し各自解散しました。

昨年10月に右足、今年の1月に左足股関節の手術をした。大変さはもちろん臨んだが、手術当日と翌日は本当に辛かった。

翌日には立つことができたが右足が長い気がする。歩行器を使い歩いてさらに実感。もう少し長くしてあげたかったができなかったと言われたが、できなくてよかったと思った。術後2日目からリハビリを開始。

整形外科専門病院なので、リハビリで日常生活が何とかできると判断されると退院できる。股関節、膝、背中など手術をした人が、お互いに励まし合いながら病棟の廊下で自主的にリハビリをして、皆さん元気に退院していくので病棟の雰囲気も明るい。

1月末の入院は、コロナの発生で術後の病棟が使用できず、包括支援病棟になった。高齢やリハビリが長くなる方が主な病棟で、車いすを使用している方が多い。病棟を行き来する方は少なく、会話がちぐはぐなこともあり、はじめはとまどったが、それなりの会話もするようになった。

リハビリ担当の方によくしゃべると言われたが、普通の会話ができるのはこれだけと、会話に付き合っていた。看護師は忙しいので長い会話はできない。元気な方はすぐに退院してしまうので、残った方はいつ退院できるのだろうと心配してしまうような方ばかり。

病棟の西側の窓から富士山がきれいに見えるので、富士山見たさに何とか車椅子の操作をして、壁にぶつかりそうになりながら廊下を進んでいく。私が押してはいけなないので仕方がないのだが、富士山が見えるとみんな笑顔になる。次の日には朝から富士山を見に行っていて、私が廊下に出ると手を振っている。やればできるじゃないと思うが、忙しい看護師が一人ひとりに付き合っていて、丁

寧に車椅子の操作を指導していくのは大変だと思う。

高齢社会の退院後の不安

仲良くなってくると、突然のように、退院後の不安を相談される。入院前は一人で暮らしていたが、退院したら大丈夫だろうか、家がどうなっているかわからない、娘は仕事をしているので一緒に生活してくれるだろうか等々、私に言われても思うような方において、不安を訴える人がいないのだろうか。高齢社会の問題が具体的に現れてくる。10年後は私たちも80代、他人事ではない。元気でいられればよいが、老々介護もあり得るし、一人暮らしの可能性もある。やっと退院の日に、「今日で退院なのエエ」と、私の手を握ってよかったね、おめでとう」と自分のことのように皆さん喜んでくれる。昨日も言ったのと思ったが、「感動のお別れシーン」が二日にわたって廊下で繰り広げられて退院してきた。

人工股関節が入ったので、レントゲンを見ると不気味でサイボーグのようだが、日がたてば元氣な生活ができるかと期待している。

今回の入院はいろいろ考えさせられる貴重な経験になった。一日一日を大切に、転ばないように（これがいちばん）、人にも自分にも優しく、心穏やかに過ごしていきたいと思っている。

50年間を振り返って

山崎厚太(商) 東京都板橋区



卒業してから50年今改めてどういう経歴をしたか思い出してみました。当時の三菱銀行に入社後、異動転籍で12カ所の職場を経験しました。江戸川橋…

入社1週間目の土曜日に現金が合わない、新人も残され帰宅したのが翌日曜日の朝7時になりました。毎日新人が本金庫から荷物を出す手伝いをするので朝7時頃出勤していました。その後貸付係では、会社を出るのが、毎日夜中の午前零時

2時、休日は自宅で仕事という日々が何年間か続きました。五反田…

貸付課に配属されましたが父の死亡、引越、結婚と私的にはかなりハード。ビルの屋上がビアガーデンで仕事終わりに良く行きました。本所…

支店の屋上の排水溝が詰まったため夜間降った雨水が支店内に流れ込み1階の機械が全て水浸しになった

こともありました。この当時ほとんど毎日上司に誘われ酒を飲んでいたので、気がします。

広尾…

元皇族で降嫁された方、宝塚の俳優や随筆家、野球選手とかも取引先で気さくに話していました。

神戸…

三菱重工や三菱電機の出動日に合わせて店が開くので三宮の商店街は年末でも閉まっていなかった。社宅が宝塚歌劇の近くにあって、宝塚ファミリールランドへ自転車で行くのを連れて良く行きました。長崎、京都の大森、六甲、須磨海岸、愛媛城など色々家族で出かけました。

泉岳寺前…

新店舗を出店するという開設準備要員。全て1から作っていかなくてはならないので手探りでした。支店が高輪にありましたので宮家にも出入りしていました。

多摩…

副支店長の時、危篤中の母が死ぬ前日、支店長が自宅で急逝、1日支店長の葬儀の準備。夜遅く母の病院へ戻り翌朝看取りました。取引先が倒産して労働組合の上部団体が乗り込んで支店が囲まれるかと思われ経験をしました。

総務部…

東京銀行と合併した後の資産の統合と店舗統廃合をする部署に異動。全国の統廃合する店を見に行き出張が増えました。

日野市役所…

取引先の市役所が児童手当を振り込む際振込先名に父母の名前を書くべきところ子供の名前を書いてしまい、このままだと何千件も宛先不明で返却されてしまうので、市役所の担当者連れて正式な書類と差し替えのため市内の銀行を1日中回ったことがありました。

滝野川…

取引先の大正大学は経理課の人もお坊さんで皆頭を丸めていました。家から歩いて1時間ぐらいで毎日歩いていました。7ヶ月で異動になったのであつという間でした。取引先の社長が後で49会に入会し同期とわかりました。

池袋…

来店客が1日7千人ぐらいあり、池袋エリア11支店の支店長をまとめていたのだから忙しかった記憶があります。

DCカード…

定年で転籍しました。合併してニコスとなりました。リストラで退職勧奨をしたのはつらかったです。長いようであつという間でした。記憶に残ることは色々ありますが、リタイアしこの歳になっても交流できる仲間がいることは、人生にとって大変有意義なことと思っています。

わがフェンシング人生の目標、ついに結実す！

板倉英行(商)

東京都
葛飾区

千葉県立東葛飾高校でフェンシングを始め、大学4年の時ユニバーシアードモスクワ大会で、フルーレ団体4位入賞。これでフェンシングが止められなくなりました。その後、全日本選手権大会3回の準優勝。1980年のモスクワ五輪代表になるも日本がボイコット。体力的に限界を感じ、夢は後輩にということ。1986年中央大学フェンシング部の監督に就任しました。

インカレ初の男子団体3種目完全優勝、全日本選手権大会男子フルーレ団体三連覇など中央大学の黄金時代を築き上げました。

また、関東大学対抗リーグ戦を種目別リーグに変え、フルーレばかりでなくエペ、サーフルの強化をはかり結果的にオリンピックで日本初の金メダルはエペとなりました。閉鎖的だった日本フェンシング協会も改革しました。誰でも自由に海外の大会に参加できるように抵抗勢力(大先輩方)を説得し、今や小学生からシニアまで多くのチームが海外の大会に出て好成績をおさめています。また、底辺が広がるように初心者だけの大会を開催したり、審判技術を向上させる為の審判講習会を開催

し日本のレベルアップに努めました。最近では、仕事からフェンシング界から遠のいていましたが、後輩達が私の意志を継ぎ、昨年のパリオリンピックで多くのメダルを獲得してくれました。中でも私達の後輩が4人

もメダリストになった事は大変誇らしいことです。オリンピックのメダリストについては、出身大学がほとんど報道されません。実は皆様の後輩が大活躍をしていたのです。選手は、以下のとおりです。全て団体戦です。

男子フルーレ金メダル・永野雄大、男子エペ銀メダル・古俣聖、女子フルーレ銅メダル・上野優佳、女子サーフル銅メダル・江村美咲。ちなみに江村は、昨年同種目の世界ランキング1位でした。彼らは、全員私達の



2024年10月に御茶ノ水の記念館で開かれた祝勝会。左から、担当部長の工藤裕子法学部教授、永野雄大、江村美咲、上野優佳選手。古俣聖選手はグランプリ大会遠征中で欠席。

後輩を父に持つ孫後輩となります。今年もグランプリ大会が始まりさっそくメダルを獲得しております。江村美咲がサーフル個人、団体で金メダル。上野優佳がフルーレ個人銅メダル、団体金メダル。古俣聖

老後の予定表は

ビッシリ!!

荒井ひろ子(文)

千葉県
君津市

2年前に34年間続けた学習塾を止めホッとしている。3人の子供たちもそれぞれ2人の子供たちが与えられ今のところ安心。

今は夫の建築設計事務所の経理を担当し必要な時に会社。地域のボランティア活動(更生保護女性会、赤十字奉仕団)にも名を連ねていて多忙である。暇を見つけては水泳やジム・山登りをする。老後の楽しみに始めた編み物も10年続いている。

ジャガイモが芽を出して来た。地中で眠っていた草花の種も目覚め大地から立ち上がり、生き物の鼓動を感じる。夏野菜の準備をしなきゃいけない。雑草との戦いが始まる。

ヤマユリの球根が掘られていたのが警察に通報したら、犯人はイノシシだった。タケノコも人間が掘る前に



タケノコ掘れたよ!! 孫3人と

がエペ団体で金メダル。馬場俊介(在学中)がフルーレ団体で銀メダル。彼も孫後輩です。長い時がかりましたが、やっと夢がかないました。今、私は本当に幸せです。後輩の父親達に感謝いたします。

大きな穴をあけて美味しい根っこを掘っていく。栗も同じく噛み捨ていく。ハクビシンやアライグマも美味いところをかじっていく。空からカラスも狙っている。負けじとネットを張り巡らす。伊予甘、せとか、柚子、種無し金柑等よく育ったがカイガラムシがついている。予防しなきゃ! 調べる事が後から後

から出てくる。

田舎の生活はボーっとしていられない!!

友人が「母は起きると先ず化粧をし、妹は先ずモップを持つ、私は先ず新聞を読んでしまおう」と言っていたが、私は先ず食べることもかなあ。食は命! ホウレン草を練りこんだパスタを作り、パセリ入りのスコーン、冷凍しておいた栗の渋皮煮をパ

デイライトの会

2025年
4月16日(水)

土佐料理の店「称保希」と SOMPO美術館

大谷 洋一 (法) 東京都
武蔵野市



4月16日(水)にデイライトの会の行事として土佐料理の店「称保希」での食事とSOMPO美術館での絵画鑑賞が行われました。

当日は晴天に恵まれ、集会場所

に練りこんで焼き、ふと巻き寿司も作り、子や孫たちが来るのを楽しみに待つ。「来て嬉し、帰って嬉し」これからどんな老後の景色が見られるか? 可能性の追求? 同い年の夫だが「アレよ、ソレソレ」で用が足りる。介護が始まる前に? 予定表を必死で埋めていく毎日が楽しい。ドキドキワクワク心拍数が上がる。

ある新宿野村ビル50階からの眺望は素晴らしい雪に覆われた富士山と丹沢山系の山並みははっきり見ることが出来ました。

集合時間の11時20分には参加者9名全員が集まり、1階下の49階の食事会場へ。

料理はもちろん、土佐の鰻を中心としたランチメニューで7750円。味と店の雰囲気を考えれば極めてリーズナブルなものでした。

冒頭、デイライトの会幹事の宮川さんから挨拶があり、しばし歓談の後、参加者の一人、小澤さんが称保希とSOMPO美術館との奇縁について語ってくれました。「しばらく会ってはいないですが、称保希の社長とは東京青年会議所入会時の同期

で、現役時代に美術品関係の仕事をしていた時、外国人のお客さんの接待場所としてよく使っていて喜ばれていました。一方、SOMPO美術館との縁は1982年から4年間のニューヨーク駐在時代、ニューヨーク白門会に入っていて現地で幹事長をやっていたが、帰国後、今度はニューヨーク白門会東京支部の幹事長をやることになり、ニューヨーク時代には接点がなかった3年後輩で安田火災海上の原口さんと知り合いになりました。彼は帰国後、常務取締役をやり、その後SOMPO美術館の館長をやっていました。もうかなり昔の話なので今回はコンタクトを取っていませんが、今回のデイライトの会は縁のある称保希とSOMPO美術館なので、これは絶対に外せないという思いで参加しました。」との話がありました。

続いて、参加者の一人、紅一点の荒井さんからは、今朝、裏の山から探って来たという新鮮な筍が配られました。千葉の君津から高速バスで新宿まで来たとのことでしたが、量を考えるとかなり重かったのではないかと思います。ありがとございました。美味しかったです。

その後、参加者全員の近況発表が行われ、現役でありながらボランティア活動を続けている人、旅行先で外国人観光客の多さに圧倒された人、草花を鑑賞しながらウォーキングを楽しんでいる等々…。それぞれが自分のペースで人生を楽しんでいる様

子が覗きました。

特に、小澤さんの府中市がふるさと納税として「府中刑務所見学会」をやっているという話は大変興味深いものでした。

約2時間の土佐料理と参加者同士の歓談を終え、隣のSOMPO美術館に移動。

以前は特徴的なスカート型のSOMPOビル(旧安田火災海上ビル)内にありましたが、今は独立した別館となっています。

1階受付で入場料1800円を払い、エレベーターで5階へ。5階は特別展示室となっていて「藤田嗣治 7つの情熱」展が開催されていました。3階、4階は常設展示で、美人画で有名な東郷青児をはじめとする日本人画家の作品が展示されていました。バブル期に58億円で購入された目玉作品であるゴッホの「ひまわり」は3階に展示されておりました。2階も覗いてみましたが土産物売り場となっていました。

約1時間の絵画鑑賞の後、午後2時半、美術館前の解散となり、デイライトの会「土佐料理の店「称保希」とSOMPO美術館」は無事終了となりました。

広告募集

この会報を作る費用の一部を皆様からの広告収入で賄いたいと思います。1段の半分のスペースを5千円で提供いたしますのでご利用ください。

会社経営者、事務所経営者の方、著作出版・YouTube案内、個人的な宣伝やメッセージなど、公序良俗に反しない広告をお待ちしております。

原稿のデータがなければ広報部がお手伝いたします。

お申し込み、ご相談は事務局までにご連絡ください。



参加者は、左から橋本幸一、宮川保、柴田明、荒井ひろ子、大谷洋一、長澤寛、岡部立道、小澤秀敏さんと写真撮影の高橋和幸さんです。

会報50号発行記念

「今、どうされていますか？」

今号は創刊 50 号になります。会員の皆様は、昨年は卒業 50 周年を迎え、年齢も後期高齢者前後になっていらっしゃると思います。コロナ禍も何とかやり過ごし、いかがお過ごしでしょうか？ メールアドレスのある会員の皆様に近況をお聞きしました。60 余名の方からお便りが届きました。

(送られてきた原稿のママで掲載していますが、一部割愛させていただいたものもあります)



ニコライ堂は昔のままですが、JR御茶ノ水駅の聖橋口は新しくなり、学生の姿よりもビジネスマンの姿が !!



★真田和義 (法) 北海道札幌市

エアロで健康増進 体重が増えたので昨年10月近くの市健康づくりセンターのエアロビクス講座に入会。休館の月曜日を除いて連日50分〜1時間、約30人で汗を流す。受講回数券6回1100円で負担は軽く、終了後のビールはとても美味しい。レオタードの女性と一緒に頑張っている。

★松本 正 (法) 栃木県下野市

私は毎日、暇にまかせて読書と運動に明け暮れています。同文同種でありながら多くの点で日本人と違う中国人の政治文化(国民性)に興味があり、古今の書籍を読んでいます。また月に6〜8回、地元(下野市)のトレーニングセンターに通い、足腰の衰えに抵抗しています。それでも頭と身体の衰えを感じるこの頃です。

★堀井信行 (理工) 栃木県小山市

この一年、病氣とケガが続き今年の新年会を欠席しました。今もひざ痛でリハビリ中です。もうすぐ75歳、日頃から体を動かすことがいかに大事なことか痛感、反省している今日この頃です。皆さんも毎日のストレッチ体操忘れずに！

★堀籠恭一 (経) 埼玉県さいたま市

百寿を迎える親の介護の間隙を縫って同じ環境下のケア友を誘い、照木信久氏参加の春・秋年2回のコンサートを聴きに行き、友人共々大いに「元氣」をもらうとともに「老々介護」

のストレス解消にもなっております。

★運実俊弘 (法) 埼玉県久喜市

定年後、70歳代まで派遣社員で公務の仕事に従事しておりました。現在は無職で自治会役員をしており、仕事は地区50世帯に月1回市の広報誌をまとめ、回覧板と併せて10班各班長宅に配布をしております。月1〜2回、孫たちが遊びに来て「じいじ、じいじ」と寄ってくるので、孫のお相手をしております。疲れます。

★長島秀行 (法) 埼玉県川越市

2月末をもって第2の会社人生を終了しました。よく74歳まで頑張ったと自分を褒めてあげたいと思います。これからは健康第一で80歳を迎えるよう頑張ります。

★小泉純子 (文) 埼玉県川越市

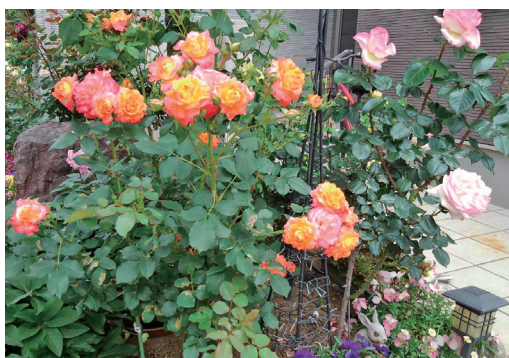
川越市の名所の氷川神社の川沿いの桜並木を散策した。生粋の川越っ子の私だがこの花見は初体験だった。見事な美しさに感激し、改めて郷土愛に燃えた一日だった。

★小山 香 (法) 埼玉県朝霞市

はい、なんとかやっています。まだ現役続行です。そんな中で私の好きなフォークソング「遠い世界に」を口ずさみながら「フォークを上手く歌いたい、水泳で1000m泳ぎたい、5キロマラソンに出たい」とか、まだまだ遠い遠い世界の夢をもって生活をしております。

★野田光昭（理工） 埼玉県所沢市
今悲しみに浸っています。大好きだった「いしだあゆみさん」がお亡くなりになられて…

★井 美知子（経） 埼玉県所沢市
昨年の異常な暑さでバラが二株枯れてしまいました。1月の寒さのなか、春にきれいな花が咲くように冬剪定をしました。いまは新芽が伸びて、心配でした。元気な葉の付いた枝が伸びているので、今年もきれいに咲いてくれるでしょう。



今年もきれいに咲いてくれました。

★横溝高至（法） 埼玉県新座市
健康第一です。医師から、たくさん歩くようにと指導されています。ゴルフもカートに乗らずに歩きます。ウォーキングの会に参加し、鋸山、養老溪谷、筑波山、袋田の滝、旧箱根街道、仙石原高原、大山、谷川岳、宝登山等歩きました。

★千葉幸嗣（商） 埼玉県三郷市
故郷への思いを形にしたい、という気持ちからふるさと創生に向けた活動に参加しています。いつの間にか岩手県人連合会役員になり故郷とのパイプ役として活躍できる場をいただきました。小岩井や三陸の美味しい食材を嗜みながら交流を図り、自身の若返りに挑戦中です。



★渡邊秀和（文） 埼玉県人間市
三月でとうとう73歳になった。人生の戦略目標を立てずにやってきた。やりたいことは何一つしていない。そもそもやりたいことがあるのかもわからない。反省してももう遅すぎる。生活に困ることはないが、自身の人生の意味付けに困っている。「これでいいのだ！」症候群で行こうと決めた。

★大竹力三（法） 埼玉県鶴ヶ島市
3年前に宮崎県と大分県に行き、これで47都道府県でまだ足を踏み入れてないのは徳島県と高知県の四国の2県だけになった。何とか今年中に踏破したいと思っている。時間、金、体力の3つが揃っている期間がいつまで続くかわからない後期高齢者です。

★口縄治幸（法） 千葉県四街道市
地元の小・中学校の卒業式に列席し思うことがあります。卒業式で歌われる曲が中学校では「ほろね（送別の歌）」「友へ旅立ちの時（卒業の歌）」「群青（全校合唱）」「小学校では「絆」「最後のチャイム」でした。定番の「仰げば尊し」は文語調や教師を賛美する内容が時代にそぐわないとのこと。卒業式の歌は世代別に時代を反映していると思うこの頃です。

★黒澤義己（法） 千葉県市川市
2度の定年退職を経て早8年。長年住んでいる町にも、半分恩返しのもりで町会の役員、また鎮守の神様への奉公で神社の責任総代の一員にもなっており、会計の仕事もしています。町会の将棋同好会の世話人もなっています。身体上は特に支障も来さず、何やかや楽しみながら日々過ごしています。

★村上今雄（通教） 千葉県市川市
自宅近くで行われていた「スポーツ吹き矢」練習会。参加したら意外に奥が深く、命中の極意裏技談義で毎回盛り上がりがあります。また、退職同期三人との月一ゴルフは辛うじて今も続いています。朝は欠かさずラジオ体操を実践中。以上が八十歳の私の老化抑止策です。

★田仲正道（法） 千葉県市原市
朝市、子ども食堂、小中学校での挨拶運動、フードパントリー、高齢者の食事会、茶話会と子どもから高齢者まで、多くの友達ができる生活を楽しんでいます。自分が高齢者であることの自覚が足りないようです。80歳を超えても今の活動を続けるつもりです。

★増澤 繁（法） 千葉県柏市
コメを調達する係…私の役割です。難しくないとも思いますが、家庭内だけでは量が増えると思外に困難です。5キロ×1しか販売しないところも多く、調達する農家の数を増やしつつあります。それにつれ、だいたい日本のコメ、田んぼ、農家にも詳しくなってきました。日本は瑞穂の国…コメは奥深いです。へー

★根本慎一（文） 千葉県袖ヶ浦市
現役の頃、人生80年と決めていた私、リタイアし欲が出て90年に目標変更。毎日のラジオ体操、ウォーキング。ボケないようにと赤ペン片手に日経新聞の丸読み。古き仲間たちとの定期交流、音楽コンサートや美術館、歌舞伎や落語講談と清く正しく過ごしております。



増澤 繁

故郷・諏訪で感じる四季も、趣きがあります。
四季に一度は、諏訪に行き、
今まで歩んできた人生を、振り返っています。



友達追加お待ちしております

Email kayoshige8@icloud.com

若葉ガーデン ★ 千葉県柏市若葉町8-13
別邸 ★ 千葉県柏市常盤台16-3-2

★伊藤公雄（経） 千葉県茂原市

元気にギターを弾いています。地元の桜祭りでバンド演奏要請があり、練習中。担当は、リードギターですが今回リードボーカルが2曲あります。『オフラディオブラダ』と『ボクサー』です。来月は、教会の音楽祭があります。楽しみなくちや♪

★藤本真也（法） 千葉県習志野市

リタイア後を考え、58歳で入学した法大通教史学科の友人達と史跡めぐり、歴史街道歩き、そしてそれを毎日フェイスブックに書き込むことを日課にしています。仕事は、44年間経営していた司法書士事務所の顧問として週一日位出勤してお手伝いしています。

★岩城和裕（理工） 東京都足立区

入社して50年。来年5月をもって父が設立した工場を閉めることに決めた。早いものであつた。間違った。プラザ合意での円レートの影響は大きかった。他社が手掛けない分野。価格競争につぶされない会社。皆が協力し合い明るく楽しい会社。50年かかってやっとできたのでは。

★加藤正治（法） 東京都板橋区

正月に細田邦雄さんが急逝しました。ご冥福をお祈りします。元気な内にと、県庁所在地を中心に訪問したことがない都市巡りをしています。今回は米沢市と山形市をプラーリ。残りは前橋市、秋田市、徳島市、高知市。トランプの言動や南海トラフを心配しつつ…



もちろん我々はこの道なき道を歩き、幻の「下石橋一里塚」を観ました。（藤本）

★山崎厚太（経） 東京都板橋区

朝起きたら一番に血圧を測るようになりました。夕方にも測ります。今のところ平常値内に収まっています。

★井戸隆裕（法） 東京都板橋区

7年前に病気を患い現役を引退しました。現在は元気で。毎日体力維持のウォーキングをしていて、毎

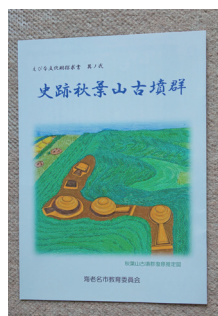
年春から秋に桜、桔梗、皀月、バラなどの観賞の為、都立庭園巡りを楽しんでます。

★荒木康裕（法） 東京都大田区

昨年12月に体調を崩して以来、この3ヶ月余り、出かけるのは病院ばかり。それも内科に耳鼻科に歯科と渡り歩く日々を送っております。薬が切れるとそれをもらいにまた出かけます。そのちょこちょこ出歩いて体を動かしたのが、不幸中の幸いと言いか、3月の終わり頃から少し体調が戻ってきました。ここ数日は家の近くを散歩できるまでになりました。出かけられない時期には、猫の額の庭の金木犀の枝に刺したミカンを食べに来るメジロをそと眺める日々でした。また来年メジロに逢えるよう、せつせと病院に通って健康を心がける所存です。

★大久保光夫（経） 東京都大田区

今、神奈川県庁の「県退職者いちょう会」の会長をしています。3月25日、会員12名と共に海老名市にある「秋葉山古墳群」の散策を行いました。古墳は山の上に五基並んであり、「前方後円墳」「前方後方墳」「方墳」と様々でした。



★三瓶富子（文） 東京都江東区

昨春秋パートナーを亡くし、一時茫然自失の状態でしたが現在終活準備中です。大量の着物と帯をリメイクする為裁縫教室に通っています。最近、裁縫中針を動かしていると精神修養している気持ちです。もう一つ、上杉鷹山の本を読みあさっています。

★岡部立道（法） 東京都渋谷区

今年もまた、カタクリの花が咲きました。港区白金台の自然教育園です。その一角の武蔵野植物園には、福寿草・雪割いちげ・甘菜・梅藻・片栗・春蘭・立蕾堇・一人静・海老根などの山野草の花々が順次咲きだします。都心でカタクリの群落が見られるのは貴重です。



可憐なカタクリの花

★新谷真人（法） 東京都新宿区

70歳の定年後は、大学の非常勤講師を勤めています。週2コマですが、仕事としてはちょうどいい感じですよ。現役時代は、我ながらよく頑張ったと感慨深いですね。

★山崎司平（法） 東京都中野区

2023年の秋に私が軽い脳梗塞をしたので「お墓」をどこに買うかが真面目な問題になりました。2人の孫息子達が沼袋のお寺さんが経営していた幼稚園に行っていて、境内墓地の掃除が行き届いていたので、昨年7月にここのお墓を購入しました。お墓の文字については珍しく妻と私の2人の意見が合致し「愚」にしました。新1年生の孫に「ジイジがここにいるからね」と言つて、「うん、判った」と言ってくれましたが、今後判ってくれますかねえ。

ハードな事案からソフトな悩みの解決まで

～親愛 正義 智恵 勇気～

中央大学元理事
弁護士

山崎司平

銀座ライツ法律事務所（第二東京弁護士会）

〒104-0061 中央区銀座 3-10-9 共同ビル 6 階

TEL：03-3546-0281 / FAX：03-3546-0280

E-mail：yamazaki@ginza-rights.jp

★柴田 明（理工） 東京都杉並区

近くの都立公園で犬と散歩している
と、多くの犬を連れて人達に出会い
犬を介して知り合いに。最初は犬の
年や名前の話で終わるが、幅広い年
齢層の人達と何回か会っている内に
生活、仕事や社会での出来事等色々
な話になり、犬と運動を兼ねた散歩
で多くの交流に発展。

★橋本美文（経） 東京都中野区

行政書士の個人事務所を開設してほ
ぼ11年。ここ数年、お受けするのは
知人からの紹介くらいで、主に支部
役員の業務や法務相談などに携わっ
ています。成年後見人の依頼がまま
あるのですが、いつ自分が被後見人
になるかわからないので、丁寧にお
断りしています。

★杉本和久（法） 東京都練馬区

加齢により医者通いが増えてしまし
たが、多くの趣味を楽しんでいます。
写真撮影、クラシック音楽の鑑賞、放
送大学・カルチャーセンターの受講
等です。フレイル予防のため、運動嫌
いを克服すべく、ジム通いも検討中。

★松井宏夫（商） 東京都港区

「後期高齢者ですか？」と言われる
ようになりましたが、まだ1年あり
ます。人生100年時代の74歳。ま
だまだやることはいっぱいありま
す。医学ジャーナリストとして、国
民の元気で長生きにしっかり貢献し
ます。多くの人からの「ありがとう」

の声を聞きたいのです。

★益田耕二（法） 東京都港区

妻が亡くなって、今年の7月21日で
満3年になります。妻の父親が残し
た古民家が富山県氷見市に残ってい
ます。義理の妹と相談して義父の名
前の合同会社を作って古民家と土地
を管理することにした。義父に
は後継ぎがいまないので嫁いだ娘た
ちの子孫が集まる場所として維持す
るつもりです。自分たちが使わない
時は、お知り合いの皆さんに使って
もらおうと思います。富山湾越しに
そびえる立山連峰は圧巻です。是非
お声をお掛けください。

*下段の広告を見てください。

★俵谷隆行（法） 東京都府中市

TBSプレバトという番組（絵画・
俳句等の芸術に芸能人が挑戦する）
に感化され水彩画や色鉛筆に挑んで
楽しんでいきます。講師は今流行の
ユーチューブ動画です。ボケ防止に
も良いとの事、皆さんも是非やって
みては！

★小澤秀敏（経） 東京都府中市

府中市のふるさと納税返礼品には
「府中刑務所プリズンツアー」があ
る。寄付金額1万円で府中刑務所の
見学ツアーに参加出来るが、すぐに
定員に達する人気ぶりだ。今年、そ
のツアー参加者に「保護司」や「更
生保護」について話をした。

★谷治博史（法） 東京都調布市

平成20年に約34年のサラリーマン生
活に終止符をうち、その後に行政書
士の試験に合格し平成21年に57歳で
行政書士事務所を開設、丸16年が経
過しました。個人事務所なので無理
をせずに、これからも日々市民に向
き合って相談会等を継続していきま
す。

★岡田 彰（法） 東京都町田市

職務上、許認可申請業務を中心に、
日々コツコツと取り組んでいます。
皆様と同様、年に負けない生活習慣
をいつまでも採り続けたいですね！

★大谷洋一（法） 東京都武蔵野市

遅ればせながら70歳になってから
スマホデビューを果たしました。今
昨今の物価高に対応するため、ポイ
活に取り組んでいます。この店では
どのXXPAYを使ったらポイント
還元が有利かなどを考えながらの買
い物は脳トレにもなり、ボケ防止に
も役立っています。

★後藤徳彌（経） 東京都小金井市

朝食は全粒粉入り食パンを昼食は
十六穀入り白米を食べ、夕食は週2
日の休肝日以外は晩酌（主に日本酒）
をしています。又1日平均1万歩以
上歩き、週1回45分のアクアビクス
教室に通い、10日に1度低山登山を
し、月に2から3日働き、年に1度
人間ドックを受けております。

★黒川憲治（法） 東京都東久留米市

コロナ以後初のトラブル発生。利用
していたハワイのコンドがリノベエ
ションの余波を受けて、利用不可に。
「今年はとうとう花粉症から逃れら
れなくなってしまうのか？」と。と
ころが何とか2か月間滞在できるよ
うに。インターネットで場所・値
段・滞在時間などをチェックし、条
件が合えば可能になるサイトがあっ
たのです。世の中の進歩は著しい！
老けてはいられません。

★佐久間信夫（商） 東京都八王子市

庭のヘリに、桃、杏、プルーンなど
の果物の木を一本ずつ植えて花と実を
楽しんでいきます。空き家に巣くうハ
クビシンがやってきて食べ頃の実実
を盗んでいきます。定年退職後も別
の職場で働き続けていますが、足腰
も弱り、病院通いの時間が生活に占
める割合が増えつつあります。

★金井貴嗣（法） 東京都八王子市

読書三昧の日々です。今、「ネクサ
スー情報人類史」と「みんなの密
教」を読んでいます。前者は、AI
が人類を滅ぼすおそれがあるとい
い、後者は、私たちは修行によって
救われると述べています。こんなこ
とを考えながら穏やかな日々を送っ
ています。

祝 会報第50号発行～広報部の皆様ありがとうございました！～



富山県の絶景を見に来ませんか？ 私がお案内します。
富山県氷見市針木148 合同会社星場ジンサク 代表社員益田耕二 Phone:090-4079-2778

★菅原 守（経） 神奈川県横浜市

なんたって、誰かに喜ばれるのは嬉しい。苦しい事や楽しい事が織りなしていたのは、若かりし頃、今は高齢者である。流石に苦しい事はほぼ無くなった。苦しい事に代わって、腰であったり膝が痛む。身体にガタが来ている。それでも花を植え、ワカメを取り、タケノコを掘り、アサリを採るのが好きだ。それらを知人に分けて喜ばれるのは嬉しい。昨今。

★三橋克美（法） 神奈川県横浜市

現在、週4日ランド・ゴルフを午前中2時間程楽しんでます。4月からは会員60余名の地元クラブの会長として先頭に立ち奮闘しています。会員の平均年齢は81歳、最高齢は94歳です。私もいつまでも元気に楽しくプレーしたいと思っています。

★有吉通泰（商） 神奈川県横浜市

後期高齢者になり、心身ともに衰えを感じます。残りの人生を有意義に生きるため、体力的には、ウォーキングだけでなく、週二で氣功を始めました。知力的には、毎週一冊以上の読書を心がけています。他人に迷惑をかけないで、楽しく生きたいと思っています。

★照木信久（理工） 神奈川県横浜市

最近、同世代の友人の旅立ちが増えています。私は61歳の時、脳梗塞で三途の川を渡りそうになりました。まさか、自分が脳梗塞で倒れるなど

想像もしていませんでした。誰も明日のことはわかりません。結論は今日をいかに大切に楽しく過ごすこと。中大スウィングクリスタルオーケストラの同期、先輩と共に設立した2つのビッグバンドでの楽しい練習と年4-5回のコンサート活動がライフワークです。

★石川鼎雄（経） 神奈川県横浜市

元気にやっているつもりですが、毎日の早朝ウォーキングで65歳時に60分で歩けた同じコースが現在では65分かかります。確実に体力が落ちてきているのを実感しています。

★成毛 誠（法） 神奈川県川崎市

75歳になり残された時間は少く、いかに社会貢献し充実した毎日が送れるかを考える昨今。現在は病院で働き年金も出てお金の心配はないが、子供が3人おり相続を含め悩みは尽きない。夫婦でどのくらい使い切るか難しく、いつ病魔や天変地異に襲われるか分からないからだ。健康こそ第一の富と働き、ピンピンコロリで一生を終え、飛鳥世界一周客船の旅は夢でいい。

★高橋和幸（法） 神奈川県川崎市

今年はスタジオ開設40周年になります。ライフワークである「男の背中」で98歳の能面師を追いかけたいです。人の人生にどれぐらい踏み入ることができるか日々葛藤しております。でもこういう日を送れるのが楽しいひと時でもあります。

★村松正彰（法） 神奈川県厚木市

49年に卒業してANAに就職しました。雇用延長を含めて67歳まで在籍。その後マンションの管理人を始めて今年で8年目。香港の駐在時代に中華料理の食べ過ぎで10キロ以上太ったので、帰国後始めたスポーツクラブにハマり、週1回のクラブ通いで体調はすこぶる良好。昨年は息子と孫と3人で富士山に初登頂。生涯現役目指して週3回の仕事を続けるつもりです。

★古木進一（理工） 神奈川県相模原市

交通事故後遺症の痛みと最近発症した関節リュウマチ痛に苦しむ妻の早期回復を願い、リハビリ等の手助けと家事代行を主たる日課として暮らしています。海外勤務が多かった私は、妻との55年間の記録が少なかったの、今から急いで妻との思い出作りを始めます！

★北村正幸（法） 神奈川県小田原市

6年前に45年勤めた保険会社を卒業、住み慣れた杉並から小田原市に転居しました。レインボーCCに所属して100を切れなくなったゴルフと地元の暮会所で囲碁を楽しむ毎日です。寒い日は箱根、伊豆の温泉を楽しむ恵まれた地の利を活かせるのですが東京は遠くなりました。

★清水隆敏（法） 神奈川県厚木市

大学入学の頃から祖父に代わって庭木の手入れに関わり50余年、松、梅、椿、榎など、木編の数々。手抜き之年もありましたが、今でも脚立に登り植木屋さん気取りでいます。昨今、さすがに膝の震えを覚えながらの、日々です。



毎朝の散歩の途中で撮った大輪の牡丹の花。（成毛）



剪定はお任せください！（清水）

各界の著名人40名の背中で人生を語る写真集。

「男の背中」

写真・文 高橋和幸

高橋直接だと送料込みで5千円。

FAX 03-3341-5274

携帯 090-4812-9865



★阿部 繁(文) 神奈川県横須賀市
「今、どうされていますか?」と言われたら、「元気ですよ」と言いたい。「多少、ガタがあっても、生きていますよ」と言いたい。駆け巡った、あの青春時代はもう、帰らない。それなら、明日を生きよう。振り返らず、前を向いて進もう。いいことばかりじゃない。むしろ辛い事の方が多い。辛い別れが多い。特別な事じゃ無く平凡に穏やかに暮らして生きたい。しかし、今、一番やりたい事を極めたいと思う今日この頃である。

★井上三史(理工) 神奈川県開成町
健康維持と自分磨きのためにパークゴルフを元気に楽しくやっています。パークゴルフに出会えた恩返しに開成町パークゴルフ協会と神奈川県パークゴルフ協会連合会の会長を兼ねて頑張っています。パークゴルフに関心のあるかたは連絡してくださいね。待っています。

★松平 守(経) 新潟県長岡市
人生100年。健康寿命年代を迎え、皆さんは、どんな健康法を実践していますか。私は、今も週5日フルタイムパートで勤務しています。そして、約30分歩いて通勤しています。この生活スタイルが、私の健康寿命延伸力と信じ継続しています。

★加納幹郎(経) 愛知県春日井市
今年8月末で会社を廃業する予定でおり、今後の老後人生をいかに過ごすか? ボーッと考えております。いかに時間を消費するか? 今までの人生で初めての経験をしております。

★高木一成(理工) 福岡県福岡市
総会での司平さんの挨拶に従い、教養のある生活に努めています。火・ダーツの会、水・テニス、木・麻雀会、土・グラウンドゴルフ。そして、毎月一回公民館シニアゴルフ大会出席と幼馴染仲間と一杯会。美智子さんを天国に送り早や2年、3回忌を迎えるのも忙しくしています。

★黒木兼一郎(商) 宮崎県三股町
後期高齢者になりました。確定申告が終わり、病院に行き資格確認書を提示すると、保険証はと聞かれました。保険料は高くなったのに保険証はなくなり、代わりの確認書は紙製です。マイナ保険証は使いたくないし、団塊の世代には厳しいなと思いました。高齢者パワーで元気に長生きしましょう。

★渡辺博史(理工) ドイツ・ミンデル
4月になり日本では桜が満開の季節ですね。ドイツでも漸く春の兆し、気温も上がって来ました。とは言え最低気温が未だに二桁ですので、暖房は未だ止められません。冬眠中はウィンタースポーツ(見るスポーツ

です)に熱中。TV放映が盛んで、アルペンスキー、クロスカントリースキー、バイアスロン、ジャンプ等、ドイツ選手が沢山活躍しています。競技によっては日本人選手も活躍でした。シーズン中はTVで一日中あった放映も終わり、只今スポーツロス状態です。次はサッカー、ブンデスリーガが最終近くなり、優勝争いリーグ存続争いで、面白い戦いが多くなります。これからは其方に熱中です!



ドイツの4月はプラム(スモモ)の花が満開。その後に桜が咲く。

宮崎からテゲ(たくさん)応援シチョルヨ(してます)!!

お気軽にご相談ください

黒木税理士事務所 所長

税理士 行政書士 黒木兼一郎

宮崎県北諸県郡三股町大字宮村1569-1
〒889-1912 (宮村郵便局南隣)

TEL(0986)51-0313 FAX(0986)51-0323

多摩総合法律事務所

弁護士 橋本幸一 弁護士 露木肇子
弁護士 近藤わかな 弁護士 三井浩之

八王子市寺町30番地

☎ 042-626-9330

今年も
来てね!!

7月の第一土曜日は 49会総会でお会いしましょう!!

開催日

2025年7月5日(土)

場所

ダイニングカフェ エスペリア

東京都千代田区神田神保町2-4

太平電業ビルB1

電話 03-3234-2588

最寄り駅 東京メトロ半蔵門線、地下鉄都営

新宿線、地下鉄都営三田線

神保町駅(A2出口)徒歩20秒

総会

12:00～12:30(11:30より受付)

懇親会

12:30～14:30(会費7,000円)



A2出口を出て左に20メートル。黄色い看板が目印です。



昨年の会場の様子。今年も盛り上がりましょう。



総会の会場から左に1分歩くと
二次会のお店になります。

2025年総会・懇親会のお知らせ

中央大学を卒業してからすでに半世紀以上たち、年齢も後期高齢者界隈の皆さん、学生時代に戻る時間をとも

に楽しみましょう。
昨年と同じ場所で総会・懇親会が開かれます。

逢えば50年前に戻るのが同窓会です。夏のひと時、50年前の青春時代に戻ってみませんか。

二次会もあります

二次会は総会会場から徒歩1分の「酔仙」です。昨年と同じ中華料理のお店です。昨年は大いに盛り上がりました。

会費は2000円です。

●2025年度会費納入のお願い

49年白門会は皆様の会費によって運営されております。2025年度の会費を7月31日までに納めてくださるようお願いいたします。

ある年度の納入を失念されていらっしゃる方も、今年度分から会費を納入していただけますと助かります。

2025年度の会計年度は2025年4月1日～2026年3月31日です。

年会費3,000円、入会金1,000円です。納入方法は下のいずれかをお選びください。

①郵便振替

振替口座番号 「00180-3-196081」

口座名称 「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要です)

銀行名 三菱UFJ銀行 調布支店 普通預金「1979382」

口座名 49年白門会 黒澤義己

(ヨンジウキウネンハクモンカイ クロサワ ヨシキ)

●49年白門会事務局

*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。

49年白門会事務局長 益田 耕二

〒106-0047 東京都港区南麻布3-11-41 ロイヤルシーズン南麻布501

Tel 090-4079-2778

※メールアドレスの登録・変更は

hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。

編集後記

49年白門会会報第50号をお届けいたします。49会が創立した2000年から毎年大体6月と12月の年2回発行して節目の50号を出すのが出来ました。ここまで続けることが出来たのも会員の皆様のご協力があればこそ感謝しております。

今まで100人以上の会員の方から原稿を戴いております。原稿執筆依頼はほとんどメールに頼っていました。突然知らない人物から原稿依頼のメールが来て驚かれた方もいたかもしれません。それでも執筆を快諾して書いていただいたことは感謝以外ありません。顔も存じ上げない方も大勢いらっしゃると思います。49会の会員だという絆だけが頼りのメールのやり取りだったかもしれないませんが、毎号校了を迎えることがホッとします。

創立20周年記念号(2020年6月発行)から始まった葛西聖司さんの「チコちゃんのうちあけ話」が今号で最終回を迎えました。5年間11回の連載でした。興味深い内容で終わってしまったのが残念ですが、長い間ありがとうございました。

会員の皆様の近況を拝見しますと、まだまだ元気で仕事をされている方が見られ、趣味を楽しんでいる方が見られます。人との交流が心と体の健康を保つのに有効であると思いました。

次号も執筆依頼のメールが届きましたら二つ返事でご快諾いたします。

(大竹力三)